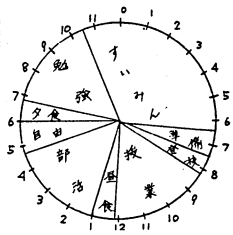
握することが大切であるが、その方法としてソシオメトリックテストや係・班活動の反省記録等を利用している。特に工夫した点としては、教師の生徒観察を適切に行うために、日課表を作成しメモをとっている。（資料1）

さらに、生徒に一日の活動の反省を記入させ、自分から進んで話せないことを教師が資料から読みとれるようにしている。（資料2）

資料2　1日の反省　5月22日（木）

	反　　省
学　習	3.5　時間
生　活	手伝いをした。
課　題	予復習
話したいこと	今までの私の性格や態度はどう見ていいと思いますか。
言いおこない	手伝い
先生から	いままでのままで良いと思います。ただ、もうすこし積極的に取り組んでも良いと思います。自信をもってがんばってください。



(二)「行動及び性格の記録」の評価の工夫

「行動及び性格の記録」の評価はやもすると教師中心の主観的なものとなりやすい。したがって、ここで、次のように評価の工夫をした。

まず第一に、基本となる評価の観点を設け、評価の基準を作成した。

資料3　「行動及び性格の記録」の評価の観点

項　目	趣　　旨	評　価　の　観　点
基本的な生活習慣	自他の生命を尊重し、進んで健康・安全に努める。生活に節度がある。身の回りを整理・整とんする。時間や物や金銭を大切にし、合理的に活用する。時と所に応じて、言動などを適切にする。真心をもって人に接する。	●身だしなみがきちんとしていて、生活に節度がある。●安全の習慣が身についている。●ことばづかいがきちんとでき、正しいマナーが身についている。●まじめな態度で、物事に接することができる。
自　主　性	自分の正しいと信ずるところに従ってはっきりと意見を述べ、行動する。自分で考え、的確に判断し、進んで実行する。	●学校行事や学級行事などに、進んで参加することができる。●自分で考え計画を立てたり、自分の意見を述べて行動できる。●係活動など、進んで実行できる。
責　任　感	自分の言動に責任をもつ。自分の役割を自覚し、自分のなすべき仕事を誠意をもって着実に果たす。	●学習課題、自分の仕事など、自分のなすべきことを果たす。●自分の言動に責任をもって行動できる。

資料4　自己評価表　1年4組　52番　W.Y

項目	評価の観点	基本的な生活習慣	自主性	責任感	勤労意欲、はげみ	創意工夫	意欲、情緒の安定	結束協力性	寛容	公正	公共心
出発	○ きめられた乗車場所に遅れないで集合できる。○ 歩行、乗車のマナー、あいさつがきちんとできる。	◎									
登校	○ はきものの整理整とん、学習物の整理ができる。○ 服装もきちんとしている。	◎									
学級会	○ 自学・自習の態度が身についていて、朝自習ができる。		○								
	○ 各係の仕事（日直、ストーブなど）きちんとできる。			◎							
授業	○ 進んで授業の準備ができる。	◎									
	○ 進んで授業にとりくむことができる。		◎								
	○ 正しい姿勢・話の聞き方・ことばづかいができる。	○									○

項目	評価の観点	基本的な生活習慣	自
清掃	○ 正しい服装、整列がきちんとできる。	◎	
	○ 自分の成すべき仕事をきちんとできる。		
	○ 自分の仕事だけでなく、他と協力し、すすんで仕事をする。		
学級	○ 会の意義を理解し、すすんで参加する。		○
	○ 人の意見に左右されず、横断的に意見をのべる。		
	○ 自分の言ったこと、すべきことに責任をもってやれる。		
	○ アイデイア、工夫など、いろいろ考えて発表する。		
	○ 他人の意見を尊重したり、聞いてやることができる。		

第二には、その評価の観点をもとにし、自己評価表を作成し、自己評価や相互評価をさせ、生徒を多面的にとらえようとした。（資料3・4）

四、研究の反省と今後の課題

資料収集のしかた、行動及び性格についての評価方法の工夫についての反省をあげてみると、次のようになる。

(一) 資料収集の工夫

資料収集の工夫をすることで、多くの資料を累積することができ、生徒をいろいろな角度から把握することができた。特に、一日の反省の記録の実施は、生徒の内面の変化を知る上で重要であるとともに、教師が点検・記入することから、教師と生徒との対話の場も生まれた。

(二) 評価方法の工夫

「行動及び性格の記録」の評価の観点を設け、自己評価、相互評価を実施したことは、「この生徒は○○だ」という一方的・主観的な生徒理解から抜け出し、具体的な資料をもとに生徒を正しく理解することができた。

(三) 今後の課題

○ 収集した資料の整理については、今後の指導に生かせるものにするために、系統的、機能的なつながりをもったものにする必要がある。

○ これまでに得た資料をコンピュータにインプットし、活用方法を検討していく。